

アジア最大級の大型クルーズ船 「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」が北九州港に初寄港しました！

平成29年6月11日（日）午前7時、ひびきコンテナターミナルに16万トン級の大型クルーズ船「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」が寄港しました。同船は、5月21日に寄港した「オペレーション・オブ・ザ・シーズ」の姉妹船で、屋上デッキにそびえる大きな熊がトレードマークです。入港後、約4,800名の乗客たちは117台の観光バスに分乗し、小倉城や門司港レトロなどへ市内観光とショッピングに出発しました。

歓迎式典では、和やかな雰囲気の中、記念品の交換等を行い、港湾空港局長や関係者が同船の初入港を歓迎しました。

また、クルー向けに企画したおもてなしツアーには122名が参加。若松の南海岸と北海岸のツアーに分かれ、観光スポットを巡りました。南海岸のツアーでは、若松あじさい祭り直前の高塔山や若松恵比須神社を散策。高塔山では、見頃を迎えたあじさいの花をたくさん写真におさめていました。北海岸のツアーでは、物産館「汐入の里」での買い物や遠見ヶ鼻の雄大な景色を満喫しました。また、「かんぽの宿 北九州」では温泉も楽しみました。

18時過ぎ、若松五平太ばやしのお見送り演奏が響く中、大きな船体を回頭させた「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」は、ひびき港を出港していきました。



「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」 全長：347.8m 総トン数：168,666 t



遠見ヶ鼻の景色を楽しむクルーたち



船内ではチャールズ船長、港湾空港局長が参加した歓迎記念式典を開催



五平太ばやしがり響く中、回頭して出港する「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」デッキの赤い熊に演奏者も驚き